

第1学年2組 総合学習指導案

授業者 学級担任 (T1)

栄養教諭 (T2)

1 題材名 「佐渡の郷土料理を学び、受け継ごう」

2 題材の目標

- ・地域の食材や食文化に興味を持ち、郷土料理の特徴を理解する。【知識・技能】
- ・郷土料理について調べて、次の世代に受け継いでいこうとする意欲を持つ。

【思考力・判断力・表現力等】

3 題材で育成する資質・能力 <評価規準>

知識・技能	思考・判断・表現力	主体的に学習に取り組む態度
自分たちの住む地域に昔から伝わる郷土料理を通して、自分の食生活が地域の食文化や歴史、気候風土と密接な関係があることを理解できる。	自分たちの住む地域に昔から伝わる郷土料理のよさにふれることで、伝統や食文化を大切にすることは、何が必要かを考えることができる。	先人によって培われてきた多様な食文化を尊重し、それを継承・発展させていこうとしている。

4 題材設定の理由

(1) 題材について

佐渡市では、第2次佐渡市食育推進計画の基本方針の一つに「佐渡の食文化の理解や継承・発展」が設定され、家庭の味や伝承料理などへ関心を深め、次世代へつなげることを目指す姿としている。しかし、近年核家族化が進み、日常生活の中で食文化を継承する機会が少なくなっていることが課題として挙げられている。

食育課題に取り組むため小学校から中学校までの9年間で一貫した食育指導を継続して行う計画のもと、「朝食」「肥満予防」「郷土愛・地産地消」、「食事マナー」の4つのテーマのうち、中学校では「郷土愛・地産地消」のテーマから郷土料理について学ぶこととしている。特に年末年始は家族で過ごす時間が長く、行事食や郷土料理に接する機会が増えるため、機会ととらえ本題材を設定した。

(2) 生徒の実態

1学年は総合的な学習の時間で「自分を知り、将来への夢をもとう。」をテーマに学習している。重点目標は金山学習や伝統芸能体験を通して、佐渡への愛着を深めることであり、宿根木の太鼓体験や伝統芸能「佐渡おけさ」、金山での現地学習を通じて佐渡のよさに触れている。

また、郷土料理は毎月給食で提供されており、日々の生活になじんで食しているもののどの料理が郷土料理であるかを知る機会が少なかった。家庭科の授業で郷土料理に興味をもつと答える生徒は90%以上であり、給食は好きもしくはどちらかといえば好きと答えている生徒は97%であった。残量調査の結果や日々の様子からも食に興味が高い様子が伺える。

5 食育の視点

- ・自分たちの住む地域には昔から伝わる料理があることを知り、郷土の新たな発見の機会とする。【食文化】
- ・自然の恵みや生産者への感謝の気持ちや食べ物を大切にしようとする気持ちをもつ。

【感謝の心】

6 本時の展開

(1) 本時のねらい

佐渡の郷土料理に関心を持ち、郷土料理や食文化のよさについて理解し、それを受け継ごうとする意欲をもたせる。

(2) 本時の展開

時間	学習活動	教師の働きかけ (○) と予想される生徒の反応 (S)		資料 (・) 評価 (☆)
		T 1 (学級担任)	T 2 (栄養教諭等)	
導入 5分	1 日本の郷土料理を知る。	○郷土料理の写真を出し、どの都道府県の料理か考えさせる。	○一般的な料理の中にも郷土料理があることを知らせる。	・日本の郷土料理写真
	2 本時の課題を確認する。	○課題を伝え、板書する。 課題 佐渡の郷土料理を学び、受け継ごう		
展開 40分	3 佐渡の郷土料理を記入する。	○記入したものを周囲と確認させる。 S 八幡いもの料理は食べたことがある。 S 煮しめは知っている。	○家庭科での既習事項や給食で取り入れた郷土料理の写真を示し、意見を出しやすくする。 ○佐和田地区の郷土料理の説明をする。	・ワークシート ・佐渡の郷土料理写真 ・さどごはん ・生産者の写真、メッセージ ・給食で取り入れた郷土料理写真 ☆郷土料理やのよさや食文化の大切さが分かる。
	4 郷土料理の特徴やよいところを考えると	○郷土料理にはどのようなよいところがあるか問う。 S 地域でとれたものを使っている。 S 旬の食べ物を使っている。 S 体によい。	○生徒の意見を板書する。 ○郷土料理とはどのようなものか説明し、給食で郷土料理を出す意図や生産者・継承者の願い、さどごはんができた背景を伝える。	

	<p>5 郷土料理を受け継ぐ理由と、自分たちができることを考える。</p>	<p>○郷土料理が食べられていない理由を問う。 S 料理を知らないから。 S 作れないから。</p> <p>○自分のできることを考えさせる。 S 家族と郷土料理の話をする。 S 家庭科で計画した料理を自分で作る。 S 家でも食べる。</p> <p>○班内でお互いに宣言させる。</p>	<p>○総合学習で学んだ佐渡おけさや金山を大切に守ってきたことと食も同じ伝承したものであることを伝える。</p> <p>○栄養教諭のできることを伝える。 「これからも給食に出していく。」「地元の旬の食材を使う。」</p>	<p>☆受け継ごうとする意欲を持ち、自分で実行できる宣言を書くことができる。</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>6 本時の評価・感想をワークシートに記入する。</p>	<p>○ワークシートに評価と感想を記入するように指示する。</p> <p>○記入した内容を発表させる。</p>		

(3) 板書計画

課題「佐渡の郷土料理を学び、受け継ごう」

佐和田は…

- ・八幡いもの料理
- ・いごねり
- ・鶏汁（しょうゆ味）

郷土料理とは

- ・地域の食材や旬の食材を生かしたもの
- ・伝統的な調理法によってつくられる。
- ・その地域に住む人々によって受け継がれている。佐渡おけさ、金山 = 食
同じもの

よいところ

- ・地域でとれたものを使っている。
- ・旬の食べ物を使っている。
- ・体によい。

まとめ

郷土料理を未来へつなげていくためには、込められた思いや願いを知って、自分たちができることを少しずつでも実践していく。

(4) パワーポイント資料

日本の 郷土料理写真 (5料理)	佐渡の 郷土料理写真 (煮しめ、八幡芋など)	今年度 給食で取り入れた 郷土料理写真
------------------------	------------------------------	---------------------------

(5) 評価

- ・佐渡の郷土料理に関心をもち、郷土料理や食文化のよさについて理解できたか。
- ・郷土料理を受け継ごうとする意欲を持ち、自分で実行できる宣言を書くことができたか。

7 事後指導

- ・給食で郷土料理を提供した日の給食放送用メモに1年生の宣言した内容を記述し、意欲を高める。
- ・佐渡の郷土料理の掲示物を作成し、他学年にも興味を持たせる。